

## 当院における肝細胞癌切除症例における肝移植適応内外における予後の検討

### 1. 研究の対象

2017年1月1日より2022年11月30日までの間に、一般・消化器外科にて肝細胞癌の診断または治療のために入院・通院し、診療を受けた方。

### 2. 研究目的・方法

肝細胞癌は一般的に治療が難しい「難治癌」として知られています。最も有効な治療法は手術による切除もしくは肝移植とされております。2020年に本邦の肝移植の基準は大幅に変化し、肝細胞癌の移植の適応拡大がなされました。しかし、どのような症例に移植、切除を行ったほうがよいのかに関してはまだまだ議論する余地がある分野です。また一方で、化学療法・放射線療法などの技術の進歩により、手術だけでなくそれらを用いた集学的治療も行われています。今後も研究によって、さらなる病態解明や治療法の開発・向上が求められています。そのため我々は、肝細胞癌に対して上記の期間に手術を受けられた患者さんの情報を集め、統計学的に検証を行うことを目的としております。今回術後の予後から、肝移植適応内外における切除の意義の検証を行います。患者さんの情報をデータとして集め、より正確な情報を発信していきたいと考えています。

研究実施期間：倫理委員会承認後～2023年7月31日（予定）

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

過去に治療された患者さんの診療録・画像データを閲覧し、データを集積した後に解析を行います。患者さんの診療録のみを使用させていただくため、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

栃木県立がんセンター 肝胆膵外科

研究責任者 石井 政嗣

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

TEL 028-658-5151 FAX 028-658-5669